

仕様書

第1 総則

この仕様書は、社会医療法人 河北医療財団 河北総合病院(以下「当院」という)が購入する救急車の一切に適用する。

1 目的

この車両は、患者に対し、車内で必要な救命処置を行うと共に、病院への救急搬送を行うことを目的とする。

2 車両条件

- (1) 納入場所である当院が使用する救急車として特別架装を施した車両であること。
- (2) この車両は、契約後に最新製作されたものであること。
- (3) 車両は普通免許で運転可能な車種とすること。
- (4) 低排出ガス車認定制度（国土交通省認定制度）レベルを達成する等、排出ガス抑制に配慮した車両であること。

3 提出書類

- (1) 受注者は、車両の製作前に次の書類を提出し、病院担当者の承認を得るものとする。
 - ① 製作工程表
 - ② 艤装4面図
 - ③ 室内配置図
 - ④ 改造、架装等に関する電気回路図
 - ⑤ その他要求された資料
- (2) 受注者は、製作中に次の書類を提出するものとする。
 - ① 艤装前4面写真
 - ② 譲渡証明書その他要求された資料
- (3) 受注者は、納入前に次の書類を提出するものとする。
 - ① 車両完成写真（前後・左右・室内）
 - ② 自動車検査証の写し
 - ③ その他要求された資料
- (2) 受注者は、納入時に次の書類を提出するものとする。

- ① 車両取扱説明書
- ② 搭載機器取扱説明書

4 検査

検査は中間検査と、納入時の引き渡し検査をそれぞれ実施する。引き渡し検査は当院担当者が指定する日時・場所において、車両・付属品等全般について検査員が検収するものとする。また中間検査は資料提出によって代替えできるものとする。

5 納入期限及び納入場所

- (1) 納入期限 令和7年3月31日（月）
- (2) 納入場所 社会医療法人河北医療財団 河北総合病院
〒166-8588 東京都杉並区阿佐谷北 1-7-3

6 保証期間

保証期間は、車両の他、取付品及び搭載機器について、各メーカーが定めた期間とし、受注者の責任において保証するものとする。但し、故意、過失によるものについては、この限りではない。

7 その他

- (1) 受注者は、車両の制作、車検登録等を行い、車両を運用可能な状態で納入すること。
また公安委員会への緊急車両申請等、病院が行う行政手続きについて十分なアドバイスをを行うこと。
- (2) 受注者は、納入時に車両及び搭載機器の点検整備、使用方法について十分な説明を行うこと。
- (3) 製作は、使用目的を十分に達成するため誠意をもって行い、仕様及び内容に疑義が生じた場合は、その都度速やかに当院担当者と協議を行い決定すること。
- (4) 納入時、燃料を 10L 以上入れた状態で納車すること。

第2 車両仕様

1 車両構造

- (1) 形状はワンボックス型 5 ドア、超ハイルーフ、ワイド幅、スーパーロング型とする。
- (2) 車両後方でストレッチャー収納時に直接排気が掛からない構造とすること。
- (3) 振動や衝撃等を十分緩衝できる車体とし、あらゆる走行条件に対して安全で、且つ、安定性を有するものであること。
- (4) 車体前部に運転室、後部に患者室がある構造とし、運転室の両側面と患者室の左側面

に乗車口、後面にストレッチャー等の搬入口を設けること。

また車体後面にすべり止め付き大型リヤステップを設けること。

- (5) 後面ドア内側にロングタイプのストラップを設けること。
- (6) タイヤハウスに泥除けを取り付けること。
- (7) リヤバンパーにキズ防止板を取付けること。

2 主要諸元

この車両の主要諸元は、次に掲げるものとする。

- (1) 乗車定員 7名以上
 - (2) エンジン ガソリンエンジン
 - (3) 総排気量 2,600cc 以上
 - (4) 最高出力 110kW 以上
 - (5) 駆動方式 フルタイム4輪駆動方式
 - (6) 変速装置 6速以上のオートマチック車
 - (7) 安全装置 衝突被害軽減ブレーキ付
 - (8) 燃料 レギュラーガソリン
 - (9) 燃料タンク 70ℓ以上
 - (10) 車両寸法（突起物を除く）
 - 全長 5,700mm 以下
 - 全幅 1,900mm 以下
 - 全高 2,600mm 以下（アンテナ等は除く）
- 室内寸法
- 室内長 4,400mm 以上
 - 室内幅 1,650mm 以上
 - 室内高 1,850mm 以上

3 緊急車両用設備

- (1) 車両屋根前後部にビルトイン式の大型散光式赤色警光灯(LED)を設置すること。
なお、大型散光式赤色警光灯は活動状況により発光が3パターン変わること。
- (2) LED 赤色点滅灯を以下の位置に取り付けること。
 - ① 車両前面部 左右 計2灯
 - ② フロントバンパー左右 計2灯
 - ③ 左右ルーフサイドの前後 計4灯（作業灯内蔵式とする）
 - ④ 後面ドア下端 停止表示灯 計2灯（扉解放時に後方向きとする）
- (3) 車両内蔵式の電子サイレン兼スピーカーを設けること。
- (4) 大型散光式赤色警光灯、赤色点滅灯、電子サイレン兼スピーカーの操作は、運転室に

電子サイレンアンプを設置し、操作が行うことができること。

また電子サイレンアンプは4種類以上の音声再生機能があること。またフェードインフェードアウト機能、ステアリングスイッチ付き、ハンドマイク及び運転席用フレキシブルマイク付きとする。

- (5) 助手席足踏み式モーターサイレンを設けること。

4 電装関係

- (1) フォグランプを設置すること。
- (2) 外部へ後退を知らせるブザーを設けること。
- (3) フロントコーナーセンサーを設置すること。
- (4) オルタネータ容量は 150A 以上とする。
- (5) 外部からの AC100V 電源の入力を受け、バッテリーの充電ができる自動充電装置を設置すること。自動充電装置は車両用メインバッテリーを全自動で充電できものとし、過充電が起こらないこと。充電時にバッテリーからのガスが車内に流出しない構造とすること。
- (6) AC100V 外部電源入力端子を車体後面に設けること。端子は未使用時に雨が入らないようにすること。10 メートルの AC100V 用入力マグネット式電源ケーブルを 1 本付属させること。いずれかの電源入力中には、エンジンがかからない構造、またはインジケータランプを設けること。
- (7) メインバッテリーには出力 300W 以上のインバーターを接続し、患者室に AC100V と DC12V を供給すること。また室内コンセントは 5 ヶ所 11 口以上とする。
- (8) 患者室内の AC100V 出力コンセントについては、外部から AC100V 電源の入力がある時はこれを優先すること。
- (9) 路肩灯を設けること。
- (10) 患者室に以下のスイッチをまとめた集中スイッチパネルを設けること。
 - ① 患者室灯
 - ② 患者室換気扇
 - ③ その他、指示されたスイッチ
- (11) 電気配線などの配線は壁内に敷設すること。止む無く露出する場合は搬送活動の邪魔にならないようまとめて敷設すること。また自動充電装置、インバーターなどの電装品についても患者室での活動の邪魔にならない位置にまとめて設置すること。
- (12) バックブザーを設けること。

5 運転室

- (1) 運転室には運転席及び助手席を設けること。座席はシートベルト付とする。ナビゲーションシステムを設置すること。またナビゲーションモニターと兼用して

前後左右モニター、TV、AM・FMラジオ等の使用ができること。

- (2) 走行中後方映像を表示できるバックミラーを設けること。
- (3) 乗降用ステップにアルミ縞板と滑り止めを設置すること。
- (4) 助手席用インナーミラーを設置すること。
- (5) 助手席で利用できるフレキシブルランプを設置すること。
- (6) エアコン吹き出し口を設けること。
- (7) 床はメーカー標準仕様とし、フロアマットを敷くこと。
- (8) サイドバイザーを左右両側ドア上部に取り付けること。
- (9) ETC2.0 及びドライブレコーダー（前方及び後方撮影）を設置すること。
- (10) フロントアンダーミラー及び左ミラー上部に補助ミラーを設置すること。
- (11) 運転席、助手席のタイヤハウス上部に滑り止めを貼り付けておくこと。

6 患者室

- (1) 室内配置は以下の通りとする。
 - ① 右側面前部に縦型扉付収納
 - ② 飛沫感染防止用隔壁扉
 - ③ 縦型扉付収納の後ろに、後ろ向き 1 人掛け座席
 - ④ 右側面に 2 本分の酸素ボンベ固定金具を設けること。
 - ⑤ 中央中部から後部にかけてストレッチャー搭載用防振架台
 - ⑥ 左前にパーテーションボードと収納庫（消毒剤固定ベルト付）
 - ⑦ 左側面中部に前向き 1 人掛けハイバック座席
 - ⑧ 左側面後部に横向き跳ね上げ式 2 人掛け以上の座席
- (2) 座席は全てシートベルト付とする。
- (3) エアコン吹き出し口を設けること。またヒーターを設置すること。ヒーターの風は搬送患者に直接当たらないこと。
- (4) 床は防水ボードであること。周囲はコーキング処理をすること。（ブチルテープやゴムパッキンは不可とする）
- (5) 左右のドアはスライド式とし、左側乗車口は乗降用の手すりと乗降用ステップに滑り止めを設けること。
- (6) 患者室の左面と後面はスイッチにより上 1/2 を透明ガラスと曇りガラスに切り替えられる仕様とし、下 1/2 は曇りガラスとする。右面には、白色フィルムを貼りとする。
- (7) 患者室の後面窓ガラスにカーテンを取付けること。
- (8) 縦型扉付収納庫は、左右両側に扉があり、サブストレッチャー収納と 3 段の棚板を設けること。収納庫扉にはティッシュボックス固定具 3 個とネット 3 個、ペン立て付き A3 ホワイトボード 1 個を設置すること。
- (9) 縦型扉付収納庫横に酸素ボンベ収納庫を取付けること。酸素ボンベ収納庫は右側スラ

イドドアより酸素ボンベが交換出来ること。また、上部に３段収納庫と吸引器固定装置を設置し、収納庫には２段式収納引出し、汚物入れがあること。

- (10)酸素ボンベから、減圧弁、三方チーズを介してオキシパックに接続し、酸素吸入マスク及び、人工呼吸器が使用できる構造とすること。また、増設で酸素マニホールド川重２口を設置すること。
- (11)左前のパーテーションボードには CLOVER3000 と酸素ボンベ、キャリーバックの固定装置を設けること。
- (12)左側面スライドドア、後面ドアに半ドア防止機能を設けること。
- (13)右側面には搬送用資材を固定できる大型収納庫を設置し、上面には当院が指定する心電図モニターと人工呼吸器、除細動器の固定装置及び電源を設けること。また、大型収納庫にはスクープストレッチャー及びバックボード固定装置を設置すること。
- (14)ルーフサイド部の左側面前後、右側面前に扉付きの収納を設けること。
- (15)右側面に温湿度計と電波時計、酸素マスク収納トレイ、血圧計、オゾン発生装置、C型バネフックを設けること。
- (16)天井に調光可能な患者室大型室内 LED 灯及び角度調整機能付患者灯を設けること。
- (17)天井にルーフネットを設けること。
- (18)後方右上に換気扇を設け、換気扇には交換可能なフィルターを取付けること。
- (19)右側側面前後と天井の前後方向にアシストグリップ用レールを設けること。
- (20)左側面の横向き座席の下部に収納を設けること。
- (21)点滴瓶固定装置をストレッチャー上の患者の下肢の上に相当する天井と右側面に設けること。
- (22)右棚上に医療機器等の取り付け用ポールを設けること。
- (23)後面ドア内側に、扉解放時に下方を照らす照明を設けること。また ON/OFF スイッチを付近に設けること。
- (24)後面ドア左側に大型乗降用手すりを設けること。

7 ストレッチャー

- (1) ファーノ社製のロールインストレッチャースカッドメイト 9304 とし、車両にスムーズに搭載できるよう電源を使用しない防振架台を設けるものとする。
- (2) 患者固定ベルト（２本）及び点滴ポール（１本）、枕（１個）が付属していること。

8 車両塗装及びデザイン

車体の塗色は白色とし、赤帯は反射材ステッカーを貼り付けること。

なお、車体のデザインについては当院担当者と別途協議し承認を得ること。

第３ 車両付属品

以下の品を車両に付属させて納品すること。

- 1 ハイテクバックボード&ヘッドイモビライザー&ストラップ 各1個
- 2 酸素ボンベ 2本
- 3 消火器 1個
- 5 スペアタイヤ 1本
- 6 スタットレスタイヤ（ホイール付き） 4本
- 7 車両キー リモコン付3本、リモコン無し2本 計5本
- 8 ジャッキ/ホイールナットレンチ 1式
- 9 車輪止め 2個